

題材 「ふえたりへったり」 5時間中の第5時

(1) 学習のねらい

個別計算とまとめ計算の2通りの考え方があることに気づいた子どもたちが、自分でふえたりへたりの問題をつくり、その問題を自分で問題を解くという活動を通して、適当な数字を並べただけでは問題として成立しない場合があるため、1度自分で問題を解いてみる必要があるということに気づき、問題を作りながら個別計算とまとめ計算の考え方を理解することができる。

(2) 本時の学習材

**成立していない問題**

- 前時までの復習を行い、子どもたちから問題がつくりたいという気持ちが出てきたところで本学習材を提示する。
- 本学習材は、問題として成立していない（答えがない）問題である。この学習材により、適当に数字を並べて問題をつくただけでは問題として成立しないことに気づくだろう。そして、子どもたちが自分で考えた問題を自分で解いてみる必要があるということに気づき、問題を作成し、その問題を解くことにより、個別計算とまとめ計算の考え方の理解の定着が期待できるだろう。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 前時までの復習を行い、学習課題を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふえたりへったりやったよ。</li> <li>・まとめ計算がよくわからないな。</li> <li>・個別計算とまとめ計算があった。</li> <li>○ 問題作ってみたいな。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">学習問題</p> <p style="text-align: center;">この問題の答えは何になるかな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この問題できないよ。</li> <li>・ 答えマイナスになっちゃう。</li> <li>・ 難しそう。</li> <li>○ 適当に数字当てはめるだけじゃダメなんだね。</li> </ul>	7'	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別計算とまとめ計算の考え方を確認する。</li> <li>○ 学習材を提示し、作成した問題を自分で解く必要があることに気づくことができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>学習材</p> <p><b>成立していない問題</b></p> </div>
	<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">ふえたりへたりの問題を作ろう。</p>			
展開	2 問題を作成し、自分で解いてみる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ できた！</li> <li>・ ○○○計算でやってみよう。</li> <li>○ ○○○計算の方が解きやすいかな。</li> <li>・ どうやって問題作ればいいのか...</li> <li>○ あれ、この問題できないや。</li> </ul>	25'	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なるべく全部の問題が作れるようにする。（ふえたふえた／へたへた／ふえたへた）</li> <li>・ できた児童は教師に問題が成り立っているか確認してもらってから次の問題を作る。</li> </ul>
	3 友達の作成した問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面白い問題だ。</li> <li>・ 個別計算とまとめ計算両方で考えられた。</li> </ul>	13'	
終末	4 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しかった。いっぱい作れた。</li> <li>・ 問題作るのむずかしいな。</li> <li>○ 問題作るときは式とか答えとかも確認しないとイケないのか。</li> <li>○ 他のお友達の作った問題解いてみたいな。</li> </ul>	3'	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>評価</p> <p>自分で問題を考え、その問題を個別計算またはまとめ計算を使って解くことができているかワークシートから評価する。</p> </div>